

## 4 たばこ・アルコール

### (1) 施策体系図にある目標

- 適量飲酒者の増加に取り組む。
- 若い世代へ正しい知識を周知するとともに、たばこを吸わない、多量飲酒をしない市民を増やす。

### (2) これまでの主な取組

#### 共 助

- ・愛育委員が世界禁煙デーや健康まつりで禁煙の必要性を普及啓発しました。また、胸部レントゲン検診の受診勧奨を行いました。

#### 公 助

- ・妊婦面接，赤ちゃん訪問，乳幼児健診等の機会を捉え，喫煙・飲酒の害や受動喫煙防止，禁煙外来の紹介等の対応法について情報提供を行いました。
- ・市内の全公民館で分煙，禁煙を徹底しました。
- ・広報かさおかにおいて，アルコールの適正摂取や COPD（慢性閉塞性肺疾患）について普及啓発を行いました。
- ・小中学校において，たばこ・アルコールに関する健康教育を実施しました。
- ・胸部レントゲン検診の実施及び精密検査受診勧奨を行いました。

### (3) 中間評価の結果

#### 〈策定時データのある指標〉

##### 【たばこ】

- ・喫煙しない妊婦の割合は，100%の目標に達していません。
- ・妊婦のパートナーの喫煙率については，十分な減少に至っていません。
- ・喫煙率の男女別内訳では，喫煙者の約8割が男性でした。むすぶ世代の男女合わせた喫煙率はほぼ横ばいでしたが，男女別の喫煙率内訳では，男性は少し下がっていたのに対し，女性の喫煙率はわずかですが増加していました。（図 12）
- ・女性の喫煙者の年代別割合を策定時と比較すると，20 歳代，30 歳代は減少傾向にあるのに対し，40 歳代，50 歳代において喫煙割合が増加傾向にありました。（図 13）
- ・むすぶ世代の COPD 認知度は策定時より増加していましたが，目標には達していません。

図 12 喫煙率男女別内訳

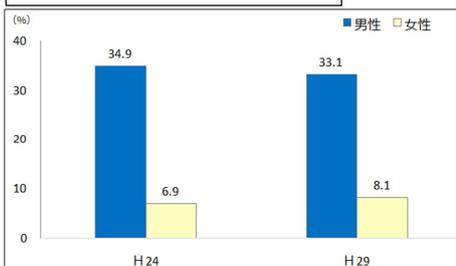
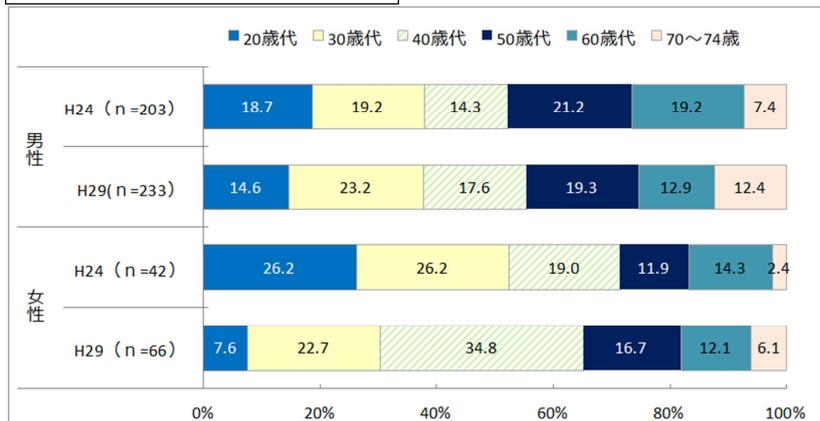


図 13 喫煙者の男女別年代別割合

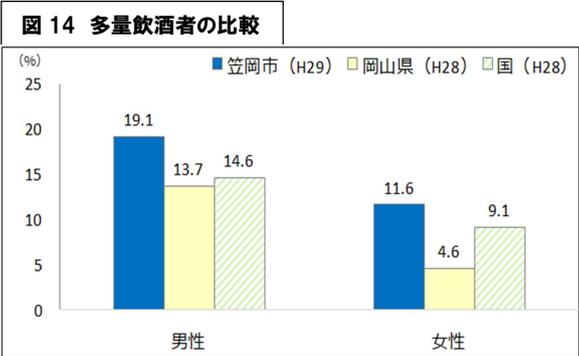


【アルコール】

- 多量飲酒者【参考①】の割合は策定時と比較すると、むすぶ世代では男女共に減少傾向にありましたが、みのる世代では男性で微増していました。
- 平成24年度集計方法【参考①】とは別に、「健康日本21」の多量飲酒の定義【参考②】にあわせて集計したところ、平成29年度の多量飲酒者は男女共に国や県を上回っていたため、多量飲酒の定義や目標を見直す必要があります。(図14)

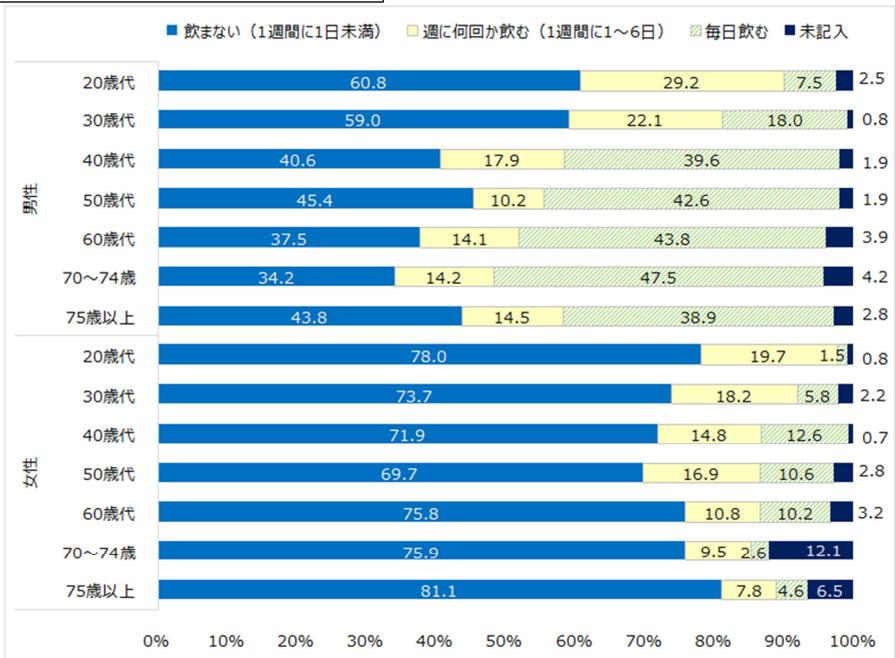
**【参考① H24 笠岡市 多量飲酒の定義】**  
 ① 1日5合以上  
 ② 1日4合以上5合未満×週5日以上  
 ③ 1日3合以上4合未満×毎日

**【参考②: 国の多量飲酒の定義】**  
 男性: 「毎日及び週5～6日×2合以上」「週3～4日×3合以上」「週1～2日×5合以上」「月1～3回×5合以上」  
 女性: 「毎日及び週5～6日×1合以上」「週3～4日×1合以上」「週1～2日×3合以上」「月1～3日×5合以上」の者  
 (健康日本21(第2次)と同様の評価基準)  
 参考: 健康日本21(第2次)目標「生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の減少」  
 目標: 男性13.0% 女性6.4%



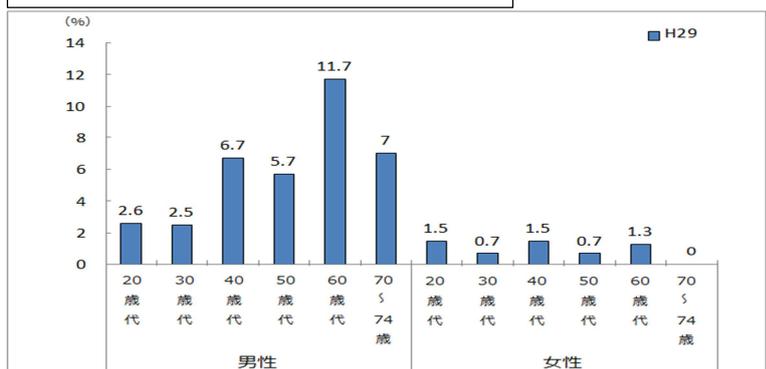
- 男性では、若い世代から徐々にお酒を毎日飲む割合が高くなっている傾向があり、70歳から74歳が最も高い値でした。(図15)

**図15 H29 男女別年代別飲酒状況**



- 多量飲酒者の男女別年代別割合は、男性では60歳代が最も高い割合を示しました。(図16)

**図16 H29 男女別年代別多量飲酒者割合**



### 〈策定時データのない指標〉

- のびる世代において、たばこが体に及ぼす害についての知識を持つ者の割合は目標の100%に対して91.9%という結果でした。
- みのる世代のCOPD認知度はむすぶ世代より低く、目標と大きく乖離していました。

## **(4) 今後の課題**

### 【たばこ】

- 妊婦の喫煙については、低出生体重児へのリスクの問題や、その後の養育への影響があることから、さらに普及啓発を充実させる必要があります。
- 妊婦や面接する母親には直接アプローチすることが出来ますが、喫煙率の高い父親へは母親から伝えようという間接的なアプローチとなり、情報提供が難しい状況にあります。
- 女性の喫煙率が増加しているため、たばこが健康に及ぼす影響や、受動喫煙防止に関する知識の普及啓発を更に実施する必要があります。

### 【アルコール】

- 多量飲酒者の割合は国や県と比較しても高く、不適切な飲酒は生活習慣病のリスクを高めるため、より一層の知識の普及や適正飲酒について啓発をする必要があります。
- 多量飲酒者の男女別年齢別割合では、男性では60歳代での多量飲酒割合が最も高く、定年後に飲酒量や頻度が増加傾向にあることが推測されるため、適正飲酒についての情報提供をしていく必要があります。

## **(5) 今後の方向性**

### 【たばこ】

- 妊婦面接や赤ちゃん訪問、乳幼児健診等の機会に喫煙を止められるよう、禁煙情報の提供や禁煙外来の周知等、サポートのための媒体等を検討し、普及します。
- 電子母子手帳の普及を行い、喫煙・飲酒についての情報提供を行います。
- COPDや受動喫煙が身体に及ぼす影響について、広報かさおかなどを活用した普及啓発を行います。
- 禁煙に関する環境整備を行います。
- 県や庁内関係課と連携し、のびる世代を中心とした若い世代に向けて、たばこ・アルコールに関する普及啓発や情報提供を行います。
- 小中学校において、たばこに関する健康教育を継続して行います。

### 【アルコール】

- 適正飲酒や多量飲酒が身体に及ぼす影響について、広報かさおかや市ホームページ等を活用し、正しい知識の普及啓発を行います。
- 特定健診受診者で休肝日のない人や多量飲酒がある人に対して、多量飲酒のリスクについての情報提供を行います。
- 小中学校において、アルコールに関する健康教育を継続して行います。

## ■目標の変更について

指標「多量に飲酒する者の割合」

〈変更前〉参考①の定義のとおり

〈変更後〉国「健康日本21（第2次）」に合わせ、参考②の定義、目標に変更

むすぶ世代 現状値：男性 19.1% 女性 11.6%

目 標：男性 13.0% 女性 6.4%

みのる世代 現状値：男性 15.7% 女性 3.5%

目 標：男性 減少 女性 減少

### 【参考① H24 笠岡市 多量飲酒の定義】

- ① 1日5合以上
- ② 1日4合以上5合未満×週5日以上
- ③ 1日3合以上4合未満×毎日

### 【参考②：国の多量飲酒の定義】

男性：「毎日及び週5～6日×2合以上」「週3～4日×3合以上」「週1～2日×5合以上」「月1～3回×5合以上」  
女性：「毎日及び週5～6日×1合以上」「週3～4日×1合以上」「週1～2日×3合以上」「月1～3日×5合以上」の者  
（健康日本21（第2次）と同様の評価基準）

参考：健康日本21（第2次）目標「生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の減少」

目標：男性 13.0% 女性 6.4%

